

令和7年度

第9回

つがる市立図書館を使った 調べる学習コンクール



募集期間

【学校応募】令和7年9月1日（月）～令和7年9月12日（金）

【個人応募】令和7年9月1日（月）～令和7年9月30日（火）

応募作品

つがる市立図書館を使って調べて、その結果をまとめた作品

- 身近な疑問や不思議に思うこと、興味があること、もっと知りたいと思ったことなど調べるテーマは自分で決めます。
- 「見る」「聞く」などの体験や実地調査も取り入れながらどのように調べていったのか、その結果何が分かったかを作品（レポート）にまとめてください。

応募対象

- つがる市内に在住・在学の小・中・高等学校の児童・生徒
- つがる市内在住または在勤する大学生・社会人等

応募部門

- 小学生の部
- 中学生の部
- 高校生の部
- 大人の部（大学生・社会人等）
- 子どもと大人の部（小学1年生以上の子どもと大人のグループ・親子）

賞

最優秀賞／優秀賞／優良賞／佳作

- 入賞者には副賞として図書カードを進呈いたします。
- 参加者全員に参加賞を進呈いたします。

完成まで図書館もサポートします。

6～8月頃には、

関連講座・相談会の開催も予定しています。

(公財)図書館振興財団



公益財団法人 図書館振興財団 Web ページでは過去の全国コンクール受賞作品をいくつか紹介しています。ぜひ、作品づくりの参考にご覧ください。

【主催】 つがる市教育委員会・つがる市立図書館

【後援】 公益財団法人 図書館振興財団／イオンモールつがる柏／つがる市農産物直売所／つがる市道の駅アーストップ／むらおこし拠点館フラット／東奥日報社／東奥日報文化財団／陸奥新報社



図書館を使った
調べる学習
コンクール

調べる学習の進め方

テーマを決める

知りたいこと、調べたいことを考えてテーマをひとつ決めます。
例) リんごが赤いのはどうして? 例) ペンギンが飛べないのはどうして?

疑問・予想をたてる

疑問をたてて、調べた結果を予想します。

計画をたてる

これからどのように「調べる学習」を進めていくのか具体的に計画をたてます。

図書館で調べる

図書館は調べる学習の強い味方です。
本や資料を使って調べ、分かったことはメモ(記録)します。

もっと調べる

本では調べきれなかったことを自然や町へでかけて、さらにくわしく調べます。
観察や実験、アンケート調査をすることも調べる方法のひとつです。

作品にまとめる

調べたことや集めた情報を作品にまとめます。
調べようとしたきっかけ、予想、調べる過程、調べた結果、考え、感想などをまとめてください。

2冊以上の本を
読みくらべよう!

作品サイズ・ページ

用紙サイズ

小学生 : B4サイズまで
中学生以上 : A4サイズまで

ページ数

本文 : 1ページ以上50ページ以内

※表紙、目次、参考・引用文献一覧は含みません。

※本文(図表を含む)には、ページ数を記入してください。

参考・引用文献一覧

- 調べたときに参考にした本や新聞、インターネットのURLなどを一覧にし、必ず巻末につけてください。
- 昨年度と継続したテーマで応募する場合は、過去の作品も別作品と考えて引用し、「参考・引用文献一覧」に掲載してください。

※集めた情報をまとめた資料集を「別冊」として添付することができます。

参考・引用文献一覧の書き方

- 本を参考にした場合** 本の最後のページには「奥付」が付いています。奥付に書いてある情報を見て一覧にします。

No.	著者名	書名	出版社名	出版年	ページ	図書館名	請求記号
1				年			376ヨ
2				年			376ヨ



請求記号

- 新聞記事を参考にした場合** 新聞紙名のまわりに書いている情報を見て一覧にします。

No.	記事を書いた人の名前	新聞記事名	新聞紙名	発行年月日	朝夕刊	ページ
1				年 月 日		
2				年 月 日		

- Web ページを参考にした場合** トップページなどの情報を見て一覧にします。

No.	Web ページを作成した人・団体名	Web ページ名	Web サイト名	更新年月日	URL	アクセス年月日
1				年 月 日		年 月 日
2				年 月 日		年 月 日

読みたいと思わせる魅力的な表紙にしよう

作品のつくり方

【表紙】

『タイトル』

イラストや写真を
入れる

〇〇学校 〇年
名前

【目次】

目次

- 1.見出し・・・3ページ
- 2.見出し・・・8ページ
- 3.見出し・・・12ページ
- 4.見出し・・・15ページ
- 5.見出し・・・19ページ

本を参考に
目次を書く

作品を一冊にまとめよう

- 作品はポケットファイルかスライドバーファイルに入れてバラバラにならないようにします。
- 文字は、えんぴつで下書きをしてから、サインペンでなぞります。
- 本文を書くときは、文字だけではなく絵やグラフを入れたり、色をつけます。
- それぞれのページに番号をふります。

(例) 【はじめに】

- ・なぜ、そのテーマについて調べようと思ったのか
- ・疑問に思ったこと
- ・結果の予想
- ・調べた方法

ページ番号

【なか】

- ・調べて分かったこと
- ・気づいたこと
- ・考えたこと
- ・新たな疑問

ページ番号

【おわりに】

- ・調べたことで何が分かったか
- ・調べる学習の感想
- ・これからの抱負

ページ番号

引用・参考文献一覧

ページ番号

本文：1ページ以上50ページ以内

■ 出典

本や新聞、インターネット、パンフレットに書いてあった情報を参考に文章を書くときは、どの本を、どこのページを参考にしたのか必ず出典を書きます。

※本に載っている図や写真、表やグラフなどのコピーを作品に貼り付ける場合も出典を書きます。

※出典は文章や図の下部に書きます。

※自分で撮影した写真を添付する場合は、(撮影者、撮影場所、撮影日時)を書いてください。

【本の場合】

著者名、書名、出版社名、出版年、ページ、図書館名、請求記号

【新聞の場合】

記事を書いた人の名前、新聞記事名、新聞紙名、発行年月日、朝夕刊の別、ページ

【Webの場合】

Web ページを作成した人・団体名、Web ページ名、Web サイト名、更新年月日、URL、アクセス年月日

【出典・引用の書き方の例】

〇〇〇図鑑には、このように書いてありました。「つがる市立図書館のコンセプトはこころ豊かな人づくりと市民の豊かな人づくりと市民の暮らしを育む図書館です。多くの市民が図書館に集まり、交流します。また、子どもから大人まで誰もがたくさんの本を自由に利用し必要な情報を見つけることができます。」

(つがる太郎 著 『〇〇〇図鑑』
〇〇出版、2022年、14ページ)

出典

■ 引用

本や新聞、インターネットに書いてあった情報など、誰かが書いた文章をそのままつかうことを「引用」といいます。自分の書いた文章と区別するために、引用文を「」でくくったあとに()をつけて、その中に出典を書きます。

引用文は一字一句、変えずにそのまま、まるうつしします。